

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②



地震発生
身を守る

今いる場所は
本当に安全？

YES
その場所を動かない

NO
避難場所へ避難



**家族との
安否確認**
※裏面参照

自宅に歩いて
帰れる？

YES
自宅へ

NO
避難場所へ



**学校へ
安否連絡**
※裏面参照

POINT

POINT

POINT

POINT



学校にどうぶかり

大きな揺れを感じたら

- **危険物から離れる**
窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。実習中や課外活動中などで、周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- **落下物から頭と手足を守る**
机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして、頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。
- **出口を確保する**
ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。(余裕がある場合)
- **揺れがおさまるのを待つ**
安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

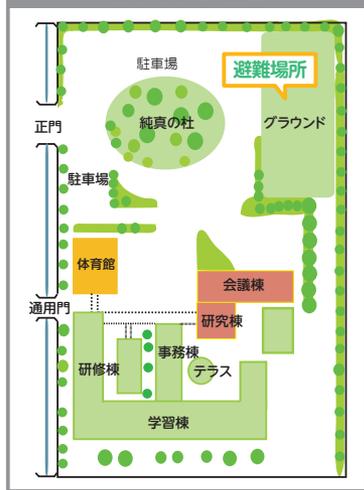
揺れがおさまったら

- **冷静に、落ち着く**
余震の可能性もあるので、あわてずにしばらく様子を見る。
- **周囲の状況を確認**
周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、その場で待つ。危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。
- **初期消火**
火災が発生している場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。
- **負傷者の救護**
負傷者がいる場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。

避難する時の注意点

- **「おかしも」を守る**
「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着いて避難。身の回りものは身につけるが、避難に支障が出る大きな荷物は置いていく。
- **火災が発生している場合**
煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- **階段で移動**
エレベーターは使用せず、階段で移動する。
- **自動車は左に寄せて停車**
カーラジオの情報に注意し、勝手な走行をしない。また、走行できない場合は左に寄せて停車し、エンジンを止める。車を離れて避難する場合は、キーをつけたままでドアロックをしない。車検証などの貴重品は必ず持ち出すこと。

避難場所【埼玉】



通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りの安全な場所に避難するか」は自分で判断する。

- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。

家族の電話番号

-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

memo

- 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅すること。
- 災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要することになる。
- 日没後の行動は危険で夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けること。